



生活バスよっかいち 20周年記念講演会

参加費無料
申込不要
(先着100名)

開催日時 2024年 1月20日 (土) 10:00~11:30

会場 四日市市文化会館 第3ホール (9:30 開場)

地域とともに20年「NPO法人生活バス四日市」の 活動内容について

講演1

10:10
)
10:30



講演者：西脇 良孝 (NPO法人生活バス四日市理事長)

1941年三重県四日市市羽津いかるが町生まれ、1996年富士電機鈴鹿工場を退職後、2001年より民生委員、自治会副会長など地域活動を開始。2003年より羽津いかるが町自治会長、NPO法人生活バス四日市理事長に就任。その後、地区連合自治会副会長、社会福祉協議会副会長、地区自主防災会会長、羽津地区人権まちづくりの会会長、介護相談員などを歴任し、現在に至る。

地域が中心となって気兼ねなくおでかけできる手段を共創する ～生活バスよっかいちは20年間、日本のフロントランナー だった～

講演2

10:30
)
11:30



講演者：加藤 博和 (名古屋大学大学院環境学研究科附属
持続的共発展教育研究センター 教授)

1970年岐阜県多治見市生まれ、名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程修了(博士(工学))。人にも地球環境にもやさしい交通・都市政策を研究する傍ら、地域公共交通プロデューサーとして、愛三岐を中心に自治体・地域や交通事業者等と協働し、現場で公共交通立て直しに取り組む。国土交通省の各種委員を歴任し、地域公共交通会議の制度を生み出すなど制度見直しに深くかかわる。

生活バスよっかいちとは？

三重交通バス垂坂線(近鉄四日市駅前～垂坂公園)は利用者減少に伴い、平成14年5月末で廃止となりました。地元住民から「買い物や病院への移動手段がなくなると困る」という声を受けて、NPO法人生活バス四日市を設立し、新たな公共交通機関としてバス路線「生活バスよっかいち」の運行に取り組みました。生活バスよっかいちは、全国で初めて住民主体の地域密着型で運行しており、運行費用は運賃と沿線企業・自治会からの協賛金と市補助金で賄い運行する路線バスです。

詳しくはこちら

検索

生活バス四日市

